

誤嚥性肺炎と口腔ケア

歯科 田村 淳

高齢者や要介護者は、様々な基礎疾患をもっていて、機能障害を起こしている場合が多いため、口腔内の清掃が思うようにできず、不潔になりやすく、体力が低下していることから感染症にかかりやすくなっています。特に高齢者は肺炎を引き起こし、死に至る場合が多い現実があります。最近では、高齢者や要介護者の口腔ケアが行き届いているほど肺炎を予防できるということが十分認識されるようになり、口腔ケアの必要性が高まっています。



誤嚥性肺炎とは、肺に異物が入って(誤嚥)発症する肺炎であり、「不顕性誤嚥によるもの」と「顕性誤嚥によるもの」とに大別されます。頻度が高いのは、「不顕性誤嚥によるもの」です。「不顕性誤嚥によるもの」とは、口腔や咽頭の細菌がむせることなく、知らぬ間に肺に吸引され流入して肺に定着し、細菌が増殖して肺炎を起こします。嚥下反射・咳反射の低下によって生じています。「顕性誤嚥によるもの」とは、食物をうまく摂取できないことにより起こります。これは食物が胃に送り込まれず、多量に肺の方に入り食物そのものが異物となり、一緒に入り込んだ細菌が増殖して肺炎を起こします。また、胃液を食道の上部まで逆流され(胃食道逆流現象)気管へ飲み込むことにより起こる肺炎でもあります。これら高齢者の肺炎は、認知機能の低下や失禁、食欲不振が兆候で、2/3に発熱があるとされています。

口腔ケアの誤嚥性肺炎に対する予防効果

2年間口腔ケアを行った人の群(口腔ケア群)と行っていない人の群(対照群)を比較すると、口腔ケアを行った人の

群(口腔ケア群)の方が肺炎や発熱の発症率が低く、総細菌数の減少が見られるという研究結果が示されました。

【図1、2】

この研究結果は、介護者や介護職、看護職等による日々の口腔ケアに加えて、歯科医師や歯科衛生士による口腔ケアにより、予防効果をもたらされることが示され、高齢者や要介護者のQOLの向上に継続した口腔ケアが貢献できることが示唆されています。また、口腔ケアは誤嚥性肺炎を予防する以外にも、身体的、精神的活動の維持や改善をもたらす意義も大きいとされています。

当院歯科においても今後、入院患者様に対して病院歯科の特性を活かして継続した口腔ケアを行っていく予定です。

図1 期間中の発熱発生率

期間が長くなるにつれ、口腔ケア群と対照群の発生率の差が大きくなっていった

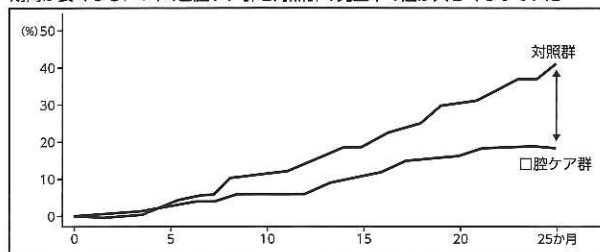
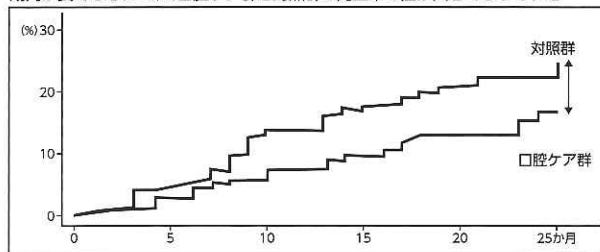


図2 期間中の肺炎発症率

期間が長くなるにつれ、口腔ケア群と対照群の発生率の差が大きくなっていった



米山武義著「介護予防としての口腔ケア」より



西条中央病院基本理念

西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

行動指針

1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

新任医師紹介

①氏名(ふりがな) ②診療科 ③卒業年 ④コメント



- ①関谷 健佑 (せきや けんすけ)
- ②内科、循環器内科 ③平成23年
- ④松山市出身、愛媛大学第二内科より赴任して参りました。西条市を始め、東予地区の医療に少しでも貢献できればと考えている所存です。御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。



- ①中田 浩史 (なката ひろし)
- ②整形外科 ③平成18年
- ④平成29年4月から勤務しております、整形外科の中田浩史です。平成26年に1年間済生会西条病院整形外科で勤務しておりましたので、2年ぶりの西条となります。これまで外傷を中心に診て参りましたので、当院でも外傷治療をはじめその予防となる骨粗鬆症対策等にも取り組んで参りたいと考えております。微力ながら西条地区の医療の一助となれるよう励んで参りますので、宜しくお願い申し上げます。

基幹型初期臨床研修医紹介

①氏名(ふりがな) ②卒業年 ③コメント



- ①川本 貴康 (かわもと たかやす)
- ②平成29年
- ③はじめまして、西条中央病院、初期臨床研修医の川本貴康です。出身は、松山で、今年の3月愛媛大学医学部を卒業しました。大学時代はラグビー部に所属していたので、体力と打たれ強さには自信があります。これから2年間、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、地域の皆様、病院スタッフの皆様の少しでもお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



- ①森川 友郎 (もりかわ ともろう)
- ②平成29年
- ③初めまして、この度、西条中央病院にて臨床研修医として勤務させて頂く、森川友郎と申します。生まれも育ちも西条市であり、この度、西条で働くことができ、とても嬉しく思っています。至らない点は多くあると思いますが、宜しくお願い致します。

部 署 紹 介 リハビリテーション科



リハビリテーション科の紹介

リハ科には理学療法士(PT)13名、作業療法士(OT)9名、言語聴覚士(ST)5名、受付スタッフ2名が在籍しています。入院と外来の患者様にリハビリテーションを提供し、病気や怪我から復帰するお手伝いをしています。

理学療法(PT)とは

事故で怪我をされた方、病気で入院し体力が低下された方などに対して、寝返る、起き上がる、座る、立ち上がる、歩くなどの基本動作練習を行い自分らしい日常生活が送れるように支援します。

作業療法(OT)とは

障害がある人が、その人らしく生き活きとした生活を送れるよう、仕事・遊び・日常生活など作業(活動)を通して、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門家です。

言語聴覚(ST)とは

話す、聞く、食べる…自然に行っていることが、病気や事故、加齢等で不自由になることがあります。こうしたコミュニケーション(話しにくい・話が理解できない・字が読めない・声が出にくい等)や嚥下、聞こえに問題がある方々の機能回復を行う専門家です。

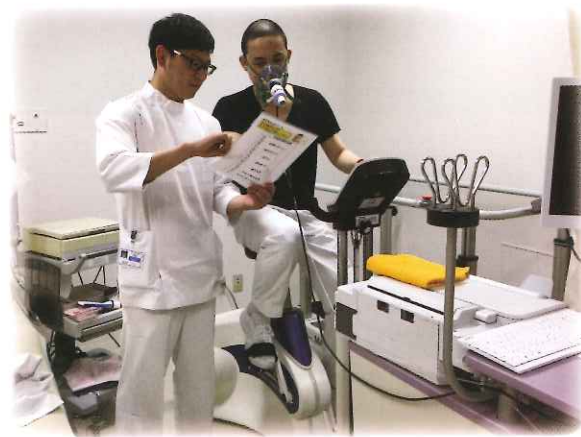
地域包括ケア

当院では、平成26年9月に地域包括ケア病棟を設立し、急性期の治療が終了した時点で在宅復帰等に向けて効果的な治療を行うための取り組みを行っています。ここでのリハビリテーションでは、積極的な介入と在宅復帰に向けての生活動作の獲得や住環境整備に力を入れています。



心臓リハビリテーション

心筋梗塞、心不全、心臓手術後など心臓に不安がある方に対して、服薬、食事と並び適切な負荷量の有酸素運動が心機能回復に良い事がわかっています。当院でも、平成28年10月から心臓リハビリを開始し、心臓に病気のある患者さんに対し、運動指導を行っています。今後、入院と外来での心臓リハビリを充実させ生涯にわたり快適な暮らしができるようにサポートしていきます。



『患者支援センター』室長に就任し 安藤キクエ

平成29年2月1日より、患者支援センター室長の任を拝命し、就任いたしました。これまで看護部長として8年、当院へ就職して40年目を迎えます。病院の変遷とともに成長させていただきました。これまでの経験値を活かし、今後スタッフ一同、微力ながら患者さんのために地域のためにお役に立てればと考えております。

患者支援センターは、「地域連携」・「医療相談」・「入退院支援」の3本柱で医師・看護師・社会福祉士・医療秘書・医療事務等の多職種で、対応させていただいております。

基本方針として、以下の4点に取り組んでまいります。

- ①患者さんの前方支援・後方支援を担い、在宅復帰に向け、多職種で対応する。
- ②病院、診療所、介護施設、訪問看護ステーション

等との地域連携を図り、患者さんの希望に添えるように、顔の見える関係作りに取り組む。

③医療・介護・福祉に関する相談をいつでも対応する。

④紹介入院・救急入院への速やかな対応をする。



西条中央病院として、全職員が活躍できる支援センターにしていきたいと思っています。どうぞ、お気軽にご活用下さい。



平成29年度 新入職員紹介



| | | |
|----------|---|-----|
| 医 師 | … | 2名 |
| 基幹型臨床研修医 | … | 2名 |
| 看 護 師 | … | 17名 |
| 臨床検査技師 | … | 1名 |
| 管理栄養士 | … | 1名 |
| 理学療法士 | … | 3名 |
| 作業療法士 | … | 2名 |
| 言語聴覚士 | … | 1名 |
| 事務 員 | … | 1名 |
| ケアスタッフ | … | 2名 |

日本医療機能評価機構認定

西条中央病院

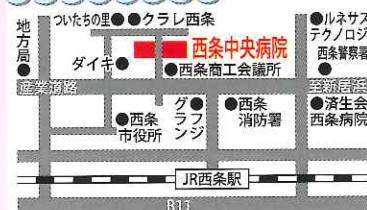
〒793-0027 西条市朔日市 804 番地
TEL (0897) 56-0300 FAX (0897) 56-0301
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

診療科目 内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科
放射線科・リハビリテーション科・歯科・皮膚科・脳外科・泌尿器科
耳鼻咽喉科(休止中)

関連施設 血液透析センター・健康管理センター
通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所・ついたちの里

病床種別 一般240床(うち地域包括ケア65・障害者93)感染症2床

当院までのご案内



■JR西条駅より バス15分 タクシー10分
■いよ西条インターチェンジより 車15分